

令和元年度 大館曲げわっぱ150年の森育成事業（大館市主催）

開催日：令和元年7月18日（木）

開催場所：秋田県大館市岩瀬字内町口（大館市有林）

山瀬ダムの近くの大館市有林にて、早口小学校と山瀬小学校の6年生の皆さん、大館市教育委員会関係者、大館北秋田地域林業成長産業化協議会会員、当署職員で下刈作業を行い、作業後に当署森林技術指導官が講師となり森林教室を開きました。

大館市職員から道具の使い方の説明の後（写真1）、剪定ばさみを使って苗木の生長の邪魔となる雑草や雑木を刈り払いました（写真2、3）。当日は曇りで気温もあまり上がらず、約40分の作業を無事に終わることができました。森林教室では、森林には酸素を供給する、土砂崩れを防ぐ、生物の生息地となる等の機能があることや、人工林では人が手をかけて森林を育てていることなどを伝えました（写真4）。

今回下刈を行った市有林は、地域の伝統工芸品「大館曲げわっぱ」の材料となる天然秋田杉に替わる木材資源を育成する「大館曲げわっぱ150年の森育成事業」の対象地となっています。平成30年度に始まったこの事業は、地元の小学生に伝統文化と森林環境保全の大切さを知ってもらうためのふるさとキャリア教育の一環としても位置づけられています。下刈作業の体験と森林教室をとおして、木を育てることの大切さや大変さ、また林業に携わる人がいるんだということとそのありがたみを、少しでも感じてもらえたのではないのでしょうか。



写真1. 下刈作業の説明



写真2. 剪定ばさみで雑草を刈る



写真3. 班にわかれて作業



写真4. 児童の皆さんに向けた森林教室